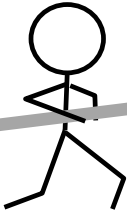


被ばく低減対策好事例集

場 所		分 類		番 号	28-05
原子炉建屋内 (RB)	RB	1	時間		
タービン建屋内 (TB)		2	距離		
R ZONE (R)		3	遮へい		
Y ZONE (Y)		4	線源の除去		
G ZONE (G)		5	遠隔、ロボット化		
その他 ()		6	汚染拡大防止		
		7	その他		
内 容		長尺治工具使用によるMSIV室調査 (状況確認/線量率測定)			
作業部位		1号機原子炉建屋1階 MSIV室			
概 略		MSIV室の状況を調査するにあたり室内の状況が不明のため、3Dレーザースキャナを活用して調査を実施した。			
評 価 (定性・定量)	効 果		対策前	対策後	
		被ばく線量(mSv)	--	--	
		人工数(人日)	--	--	
事例詳細					
<p>対策前 MSIV室は高線量率であることが推測され、作業者の立ち入りができないため、状況が不明であった。</p> <p>対策内容 低線量エリアから、MSIV室に長尺ポールを使って室内の線量率測定及び室内調査を実施した。</p>					
<p>室内の線量率は不明</p> <p>室内への入口近傍は高線量</p> <p>室内への入口は室内の床上約4m</p>			<p>長尺ポールを室内に挿入する調査方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 長尺ポール端部に調査機器を取り付け、高線量率エリアから距離をとることで、作業員の被ばくを低減した。 		
<p>低線量エリア (2mSv/h) でポール操作</p> 			 <p>挿入ポール 連結ポール 調査機器 高線量エリア 後側ガイドローラ 前側ガイドローラ</p>  <p>3Dレーザースキャナ外観</p>		